



地下設備を浸水・水没から守る

# 浸水防止グレーチング

浸水防止グレーチングは、地下設備を浸水・水没から守る製品です。  
近年多発している、局地的集中豪雨は道路の冠水、地下道の水没等を起こし、重要インフラに多大な損害を与えています。  
浸水防止グレーチングは簡単な操作で防水状態になり、地下設備への流入を遮断します。もちろん普段は、通常のグレーチングとしての換気機能を有しており、従来の防水板に比べると、設備の占有体積が小さく、地下設備出入孔時の安全面は飛躍的に向上しています。



表部



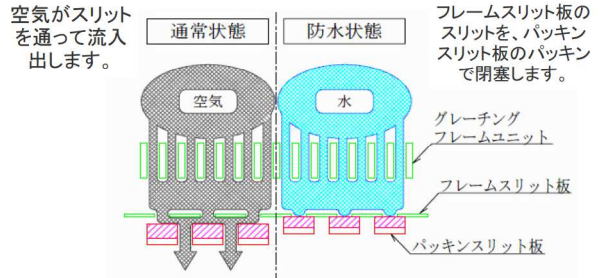
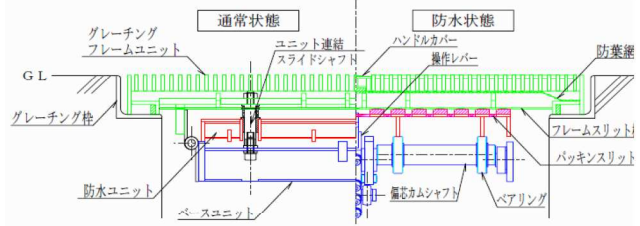
裏部

## 特徴

- 出入がスムーズ  
- 狭い換気・出入孔付近に大型操作設備が無い。
- 小さな動きで確実な防水  
- スリットをパッキンで閉塞。開閉可動範囲が小で、安全性は高。
- 換気も防水も外見ではわからない(変化小)  
- 開閉時どちらも入出孔が可能。

## 防水機構

- 主な構成
- ①フレームユニット : 路面部で、各ユニットを支持(フレームスリット板)
  - ②防水ユニット : 上下動作、通常状態⇄防水状態に切替(パッキンスリット板)
  - ③ベースユニット : 防水ユニットを動作させる機構部



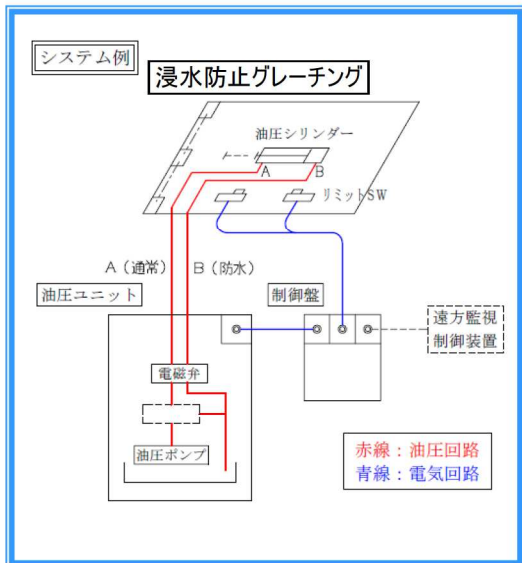
## 仕様

項目	仕様	備考	
外形寸法*1) L×D×t[mm]	標準タイプ	994×770×162	突起部、油圧シリンダー、可動部 防護カバーは含まず
	スリムタイプ	994×650×162	
本体材質	グレーチングユニット	SS400	溶融亜鉛メッキ
	その他ユニット	SUS304	
	パッキン類	CR系難燃ネオプレン	UL94-HF1合格品
耐荷重(自動車荷重)	T-2(800kg)	日本道路協会共同溝設計指針 歩道条件(後輪一輪荷重)	
防水性能	水頭50cm(50hPa)において、防水率*2)90%以上	弊社の設定基準	
開口率(換気有効面積に対し)	約23%	通常のグレーチング(5t×12t)の場合約50%	



\*1) サイズは「標準タイプ」と「スリムタイプ」があります。その他は、個別設計となります。  
\*2) 防水率は弊社の設定基準です。  
「通常状態」及び「防水状態」各々の落水時間から、単位秒当たりの落水量を算出し、以下の式より算出します。

$$* \text{防水率} = \left[ 1 - \frac{\text{「閉」落水単位数}[\text{m}^3/\text{sec}]}{\text{「開」落水単位数}[\text{m}^3/\text{sec}]} \right] \times 100[\%]$$



お問い合わせは・・・

〒210-0843  
神奈川県川崎市川崎区小田栄2-1-1 昭和電線小田栄ビル 3F  
TEL : 044-344-6556 FAX : 044-322-5221  
e-mail : eigyou6545@stec.swcc.co.jp